

保管用

製品保証書付

2025年8月作成
(第一版)

Famineru ファミネル電動鼻水吸引器 取扱説明書

ご使用時に必ずお読みください

- P.1 ● 安全上のご注意
- P.4 ● お使いになる前に
- P.6 ● ご使用前の準備
- P.8 ● 鼻水の吸い方とコツ
- P.10 ● 使い終わったら
- P.11 ● お手入れについて(清掃・消毒)
- P.13 ● 保管方法について
- P.14 ● 点検と廃棄について
- P.15 ● 記号について
- P.16 ● 故障かな？と思ったら
- P.17 ● 製品仕様
- P.18 ● 部品の購入について
- P.19 ● 技術資料EMCについて
- 製品保証書



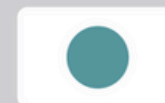
F a m i n e r u



静音設計

49 dB

※当社測定



安心の日本製



オールイン収納



お手入れカンタン





安全上のご注意

1. はじめに

本製品は家庭環境及び院内において新生児、乳幼児、小児、大人を対象に鼻腔内の鼻水の吸引に用いる電動式の可搬型吸引器です。




2. 安全のために

ご使用前に、ここに示した『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」
	注意	「傷害や物的損害の可能性のある内容」
	指示	製品使用上、必ず実行していただきたい内容を示します。
	禁止	製品使用上、禁止行為を示します。

3. ご使用にあたって

① 操作・吸引について

 警告		
	禁止	<ul style="list-style-type: none"> 鼻水吸引以外の目的では使用しないでください。(予期しない事故につながる可能性があります。) 本器の付属品、および本器の別売品以外は使用しないでください。(予期しない事故につながる可能性があります。) お風呂では使用しないでください。(漏電、感電するおそれがあります。) 鼻血が出ている場合には使用しないでください。(症状が悪化するおそれがあります。鼻孔内の粘膜を痛めたり、鼻腔炎を起こすおそれがあります。) 本体の底面にある排気口をふさがないでください。(故障の原因になります。) 高気圧酸素治療装置に持ち込まないでください。(発火、火災が発生するおそれがあります。) 可燃性麻醉剤雰囲気、可燃性薬品の側に持ち込まないでください。(発火、火災が発生するおそれがあります。) MRI、CT、電気手術器などのノイズを発生する機器との併用をしないでください。(電磁誘導などのノイズで誤動作するおそれがあります。) 強い静電気や電磁波を発するものに近づけないでください。(故障や誤動作の原因になります。) 本器と他の機器を密着させたり、近づけて使用しないでください。(互いに電磁障害を引き起こすおそれがあります。) 携帯電話等移動無線周波数通信機器により本器は影響を受けることがあるため 30cm以上離してください。 本器の付属品、および本器の別売品以外は使用しないでください。(電磁障害を引き起こすおそれや正常に作動しないおそれがあるため。) 分解した鼻水タンクにシリコンチューブを付けた状態で、電源を入れないでください。(鼻水タンクに強い吸引力がかかり、重大な事故につながるおそれがあります。)
	指示	<ul style="list-style-type: none"> 本器は、鼻水を吸引する医療用吸引器ですので、必ず医師または医療従事者の指導に従って使用してください。 本器は、必ず大人が操作するようにしてください。 使用中に異常や不安を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。 鼻水の吸引がうまくいかない場合は、医師に相談してください。 専用 AC アダプターや鼻水タンクなどは、必ず専用の部品を使用してください。(火災、感電事故、故障の原因となる場合があります。) 専用 AC アダプターのコードやシリコンチューブが首などに巻き付かないように注意してください。重大な事故につながるおそれがあります。



使用していない時は、

乳幼児の手の届くところに置かないでください。保管しないでください。




※小さな部品もあります。誤って部品を飲み込んだり、ケガの恐れがあります。
※誤使用により、重大な事故につながる恐れがあります。




注意

	禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本体に液体をかけないでください。 寝具の上などの不安定な場所に置いたり、転倒しやすい場所に設置しないでください。 本体や専用 AC アダプターに水をかけたり消毒しないでください。(故障の原因となります。) 火気の近くに本体や部品を置かないでください。(変形や破損の原因となります。) 製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。(破損や故障の原因となります。) 専用 AC アダプターや高温になっている場所に 10 秒以上触れないでください。(低温火傷のおそれがあります。)
	指示	<ul style="list-style-type: none"> 長時間未使用の場合、使用前に必ず清掃及び消毒と点検を行ってください。 使用前に部品の有無や動作、キズ、割れ、欠け、変形など異常がないか確認してください。 本器に異常が発見された場合は、使用を直ちに中止し、内部の機器には触れずに保証書に記載するお客様お問い合わせ連絡先にお問い合わせください。 複数人の患者へ使用する場合、毎回使用後に吸引ノズルと鼻水タンクを清掃・消毒を行ってください。 シリコンチューブへ鼻水が流れ込んだ場合は、すぐにスイッチを OFF にし、シリコンチューブとサブタンクを清掃してください。 把手を持って移動してください。 1 回の吸引は片方の鼻で 5 秒以内にしてください。(患者の不快感や不安感を解消するためです。) 使用中に異常や不安を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。 鼻水の吸引がうまくいかない場合は、医師に相談してください。 使用中に出血したり、お子さまが痛がる場合は、使用をやめ、医師に相談してください。 吸引ノズル(ショート)は鼻腔に押し込まず隙間がないように装着して、患者の表情を見ながら徐々に吸引してください。 保護者が抱きかかえる等あやしてリラックスさせてください。 本器の本体や専用 AC アダプターは安全規格の許容範囲ですが、表面が高温になり低温火傷のおそれがあります。連続した運転時間を 15 分程度に止め、30 分程度の休止時間を設けてください。

② 専用 AC アダプターについて

 警告		
	禁止	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で、専用 AC アダプターの差し込みプラグを抜いたり差し込んだりしないでください。(感電のおそれがあります。) 専用 AC アダプターを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりして破損させうる行為は避けてください。(火災や感電、事故、故障の原因になります。)
	指示	<ul style="list-style-type: none"> 必ず当社指定の AC アダプターを使用してください。(火災、感電、事故、故障の原因になることがあります。) 専用 AC アダプターの差し込みプラグにホコリが付いている場合は、よく拭き取ってください。(火災の原因になります。) 使用後は速やかに専用 AC アダプターをコンセントから抜いてください。(重大な事故につながるおそれがあります。)

注意

	指示	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが OFF(○)の状態では専用 AC アダプターを接続してください。 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず専用 AC アダプターの本体を持って引き抜いてください。(故障や火災、感電のおそれがあります。) 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。(破損個所のショートにより火災、感電のおそれがあります。) 電源プラグを抜くときに妨げになる場所に、本体を置かないでください。
---	-----------	--

③ お手入れ、保管・廃棄について

⚠ 警告



禁止

- 。 本体や専用 AC アダプターを絶対に分解しないでください。(火災や感電、事故、故障の原因となるだけでなく、安全に重大な影響を与える可能性があります。)
- 。 本体や専用 AC アダプターに水をかけたり消毒しないでください。(故障の原因となります。本体及び専用 AC アダプターに水がかかった時は、乾いた布で拭き取ってください。)
- 。 本体をベンジンやシンナーなどの有機溶剤で清掃・消毒しないでください。(故障の原因となります。)
- 。 オートクレープ、エチレンオキサイドガスで滅菌しないでください。(故障の原因となります。)
- 。 乳幼児の手の届くところに置かない、保管しないでください。(小さな部品もあります。誤って部品を飲み込んだり、怪我のおそれがあります。)

⚠ 注意



指示

- 。 本体および部品は、清潔な場所、直射日光の当たらない場所で保管してください。(雑菌が繁殖したり、部品が劣化するおそれがあります。)
- 。 廃棄の際は、地域の条例に従って正しく処分してください。
- 。 長時間未使用の場合、使用前に必ず清掃及び消毒と点検を行ってください。
- 。 消毒する前に、汚れをしっかりと取り除いてください。(怠ると故障の原因となります。)
- 。 洗った部品は完全に乾燥させてから使用してください。(濡れたままだと故障の原因となります。)
- 。 洗浄後は、よく乾燥させてから収納してください。(雑菌が繁殖するおそれがあります。)
- 。 シリコンチューブの収納時は、折り曲げずにまるめて収納してください。
- 。 本器に異常が発見された場合は、使用を直ちに中止し、内部の機器には触れずに保証書に記載するお客様お問い合わせ連絡先にお問い合わせください。

■ お使いになる前に

1.入っているものの確認

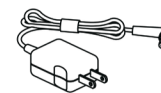
すべての部品がそろっていることを確認してください。

ご購入後初めてご使用になる時や、長期間ご使用されていない時は、ご使用前に各部品を清掃・消毒してください。(P.11 お手入れについてを参照)

部品が完全に乾燥していることを確認してから、組み立ててください。



本体
(フタ含)



専用
ACアダプター



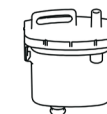
鼻水タンク・
吸引ノズル

(2種類: ショート / ロング)



シリコン
チューブ

(100cm)



サブタンク

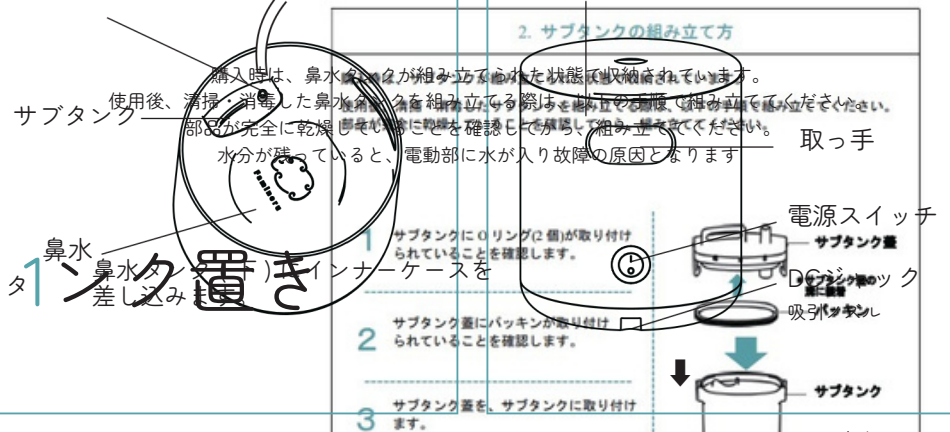
※本体に設置されています

●取扱説明書兼製品保証書 ●添付文書

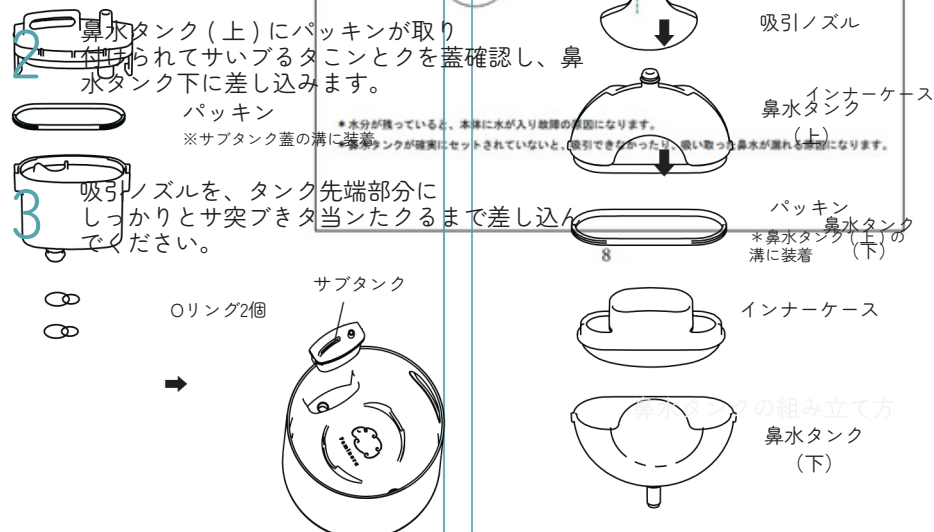
ご使用前の準備

1. ご使用前の準備 (鼻水タンクの組み立て方)

吸気口 部品が完全に乾燥していることを確認してから、組み立ててください。



サブタンクは購入時にはあらかじめ装着されています。※インナーケースはある部分が上です。



※ノーマル吸引ノズル・ロング吸引ノズルは必要に応じて選択し装着してください。
※鼻水タンクが確実にセットされていないと、吸引できなかったり、吸い取った鼻水が漏れる原因になります。

ご使用前の準備 (組み立て方)

1. 鼻水タンク(下)の突起部分にシリコンチューブを差し込みます。

購入時は、鼻水タンクが組み立てられた状態で収納されています。

使用後、清掃・消毒した鼻水タンクを組み立てる際は吸、気口以下の手順で組み立ててください。部品が完全に乾燥していることを確認してから、組み立ててください。

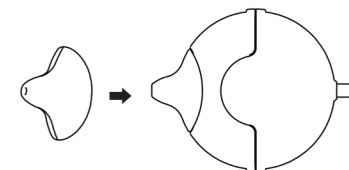
1. 鼻水タンク(下)にインナーケースを差し込みます。

※確実にセットされていないと、吸引できない原因になります。

3. 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2. 鼻水タンク(上)にパッキンが取り付けられていることを確認し、鼻水タンク(下)に差し込みます。

3. 吸引ノズルを、鼻水タンク(上)先端部分にしっかりと突き当たるまで差し込んでください。

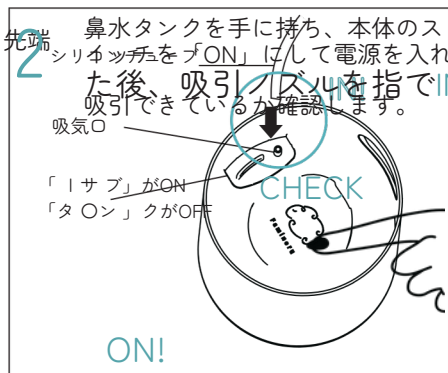
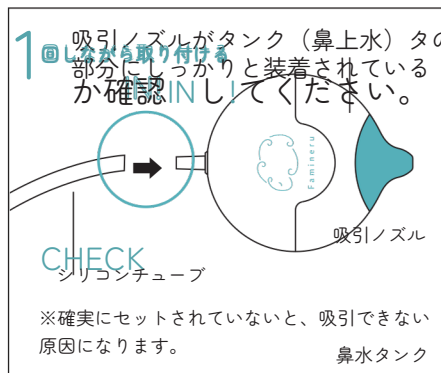


※吸引ノズル(ショート・ロング)は患者の鼻孔に適したサイズを選択し装着してください。
※鼻水タンクが確実にセットされていないと、吸引できなかったり、吸い取った鼻水が漏れる原因になります。 ※水分が残っていると、本体に水が入り故障の原因になります。

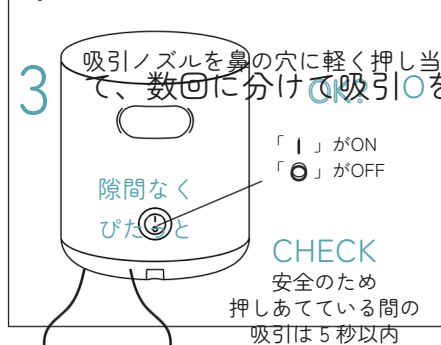
■ 鼻水の吸引方法の準備（本体と構成部分の組み立て方）

- 1 鼻水タンク（下）の突起部分にシリコンチューブを奥までしっかりと差し込みます。
- 2 シリコンチューブを、本体内部のサブタンクについている吸引口に差し込みます。

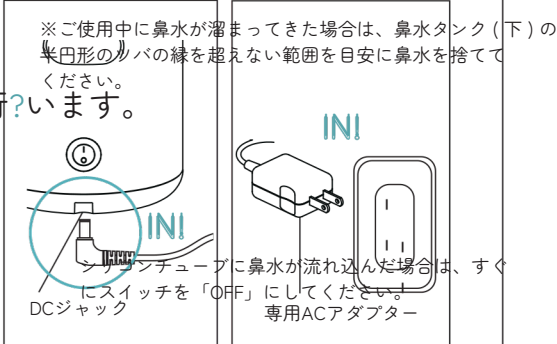
電動鼻吸引器の本体部分は、お子さまが触れない位置に設置して吸引してください。



- 3 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- 必ず吸引ノズルを装着してから吸引を行ってください。



- 4 専用ACアダプターを本体底面の穴に差し込んだ後、コンセントに差し込みます。
- 水や精製水など、鼻水以外を吸引しないでください。



- ⚠ 濡れた手で、専用ACアダプターの差し込みプラグを抜いたり差し込んだりしないでください。感電のおそれがあります。
- ⚠ 専用ACアダプターを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ⚠ 必ず当社指定の専用ACアダプターを使用してください。
- ⚠ 専用回AのC吸引アダプはタ片一方の差鼻して込み5ブ秒う以グ内にホシコリてがく付込着している場合は、よく拭き取ってください。火災の原因になります。
- ⚠ 電圧源。ス（イ患者チのの不不快（感〇）やの不状態感で専を用解A消スアるダブたためー）を接続してください。
- ⚠ 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。電源コードや電源プラグが傷んでいた、コンセントの差し込みがゆるい
- ⚠ ※急激な吸引を避けるため、吸引ノズルは少し離れたところから徐々に近づけて吸引してください。
- ※鼻水タンクに溜まった鼻水は、使用するたびに捨ててください。

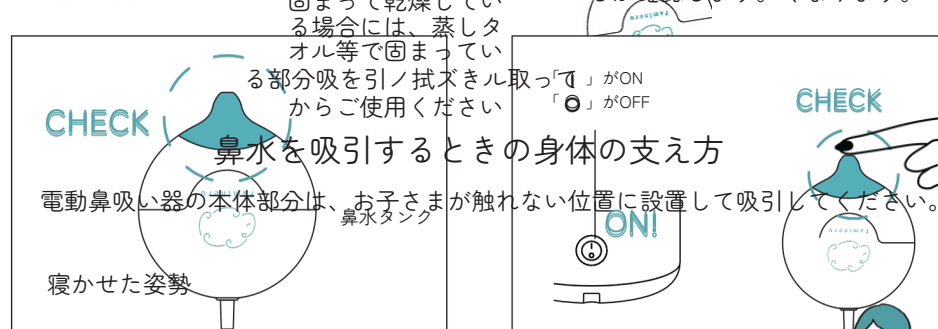
これで鼻水吸引器の準備は完了です。

4 吸引ノズルを鼻の穴から外した後、スイッチを「OFF」にします。

■ 鼻水の吸引方法の準備（本体と構成部分の組み立て方）

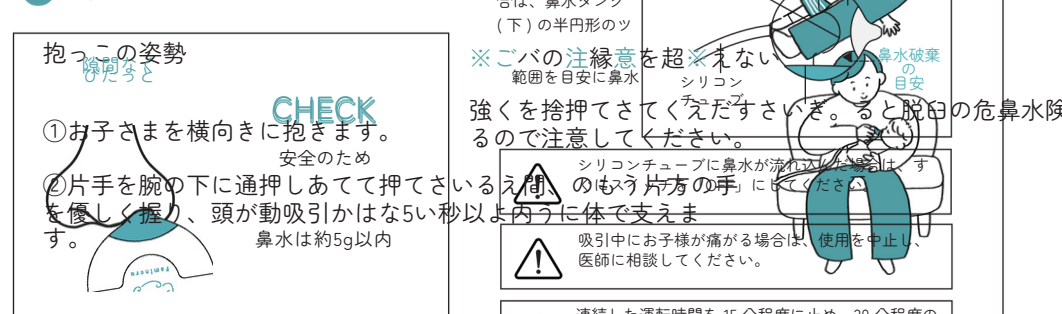
1 鼻水の吸引方法

- 1 鼻水の吸引方法
- 2 鼻水の吸引方法



- ※必ず吸引ノズルを装着してから吸引を行ってください。
- ※お子さまの頭を足で軽く挟んで安定させ、鼻水以外を吸引しないでください。
- ※片手で両手を優しく押さえます。

3 ②お吸引する際の姿勢と鼻の支え方



- ⚠ 1回の吸引は片方の鼻で5秒以内にしてください。（患者の不快感や不安感を解消するため）
- ⚠ 連続した運転時間を15分程度に止め、30分程度の休止時間を設けてください。本器の本体や専用ACアダプターは安全規格の許容範囲内ですが、表面が高温になり低温やけどの恐れがあります。

- ※吸引ノズルを無理に鼻の奥まで押し込まないでください。鼻の内部を傷つける恐れや、吸引ノズルが外れるリスクがあります。
- ※吸引中は、吸引ノズルが鼻の内側の皮膚に触れないように注意してください。

4 吸引ノズルを鼻の穴から外した後、スイッチを「OFF」にします。

2.鼻水吸引時の体の支え方とコツ

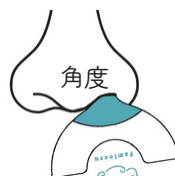
コツ1



お風呂上がりや蒸しタオルで温めたりすると、鼻の中が湿って鼻水が柔らかくなりやすいです。

コツ2

隙間なく
びたっと



鼻の穴がしっかりとふさがるように差し込みましょう。隙間があると吸引しにくくなります。

鼻水を吸引するときの身体の支え方

電動鼻吸い器の本体部分は、お子さまが触れない位置に設置して吸引してください。

寝かせた姿勢

- ①お子さまの頭を足で軽く挟んで安定させ、片手で両手を優しく押さえます。
- ②お子さまの顔を支えながら吸引してください。

※就寝後の鼻の表面が固まって乾燥している場合には、蒸しタオル等で固まっている部分を拭き取ってからお使いください。



抱っこ姿勢

- ①お子さまを横向きに抱きます。
- ②片手を腕の下に通して押さえ、もう片方の手を優しく握り、頭が動かないように体で支えます。

※強く押さえすぎると脱臼の危険があるので注意してください。



専用 AC アダプターのコードやシリコンチューブが首などに巻き付かないように注意してください。



使用中に異常や不安を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。



鼻水の吸引がうまくいかない場合は、医師に相談してください。



吸引ノズル（ショート）は鼻腔に押し込まず隙間がないように装着して、患者の表情を見ながら徐々に吸引してください。



使用中に出血したり、お子さまが痛がる場合は、使用をやめ、医師に相談してください。



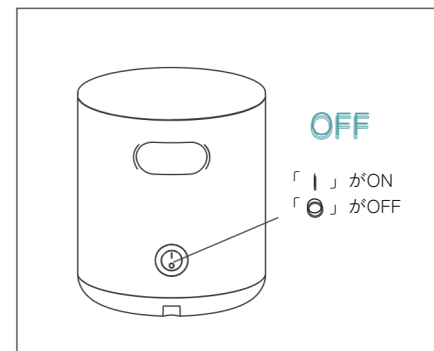
保護者が抱きかかえる等あやしてリラックスさせてください。

使い終わったら

1.使用後の手順

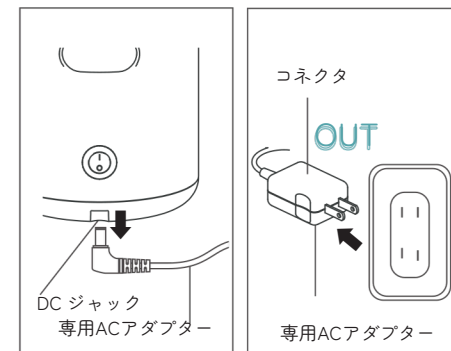
1

電源スイッチがOFFになっていることを確認します。



2

専用 AC アダプターをコンセントおよび電動部から取り外してください。



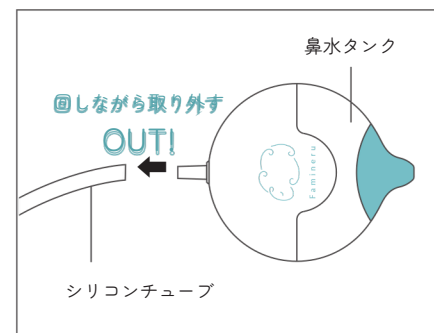
※使用後に専用ACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず専用 AC アダプターの本体を持って引き抜いてください。（故障や火災、感電のおそれがあります。）

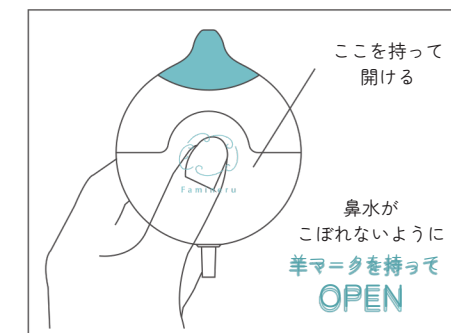
3

シリコンチューブを鼻水タンク本体部分から取り外します。シリコンチューブを洗う場合は、本体からもシリコンチューブを外してください。



4

鼻水タンクを分解して、洗浄します。取り外す際は、“羊のマーク部分”を持って開けてください。
※上部を持ってあげないでください。



お子さまの近くで分解しないでください。誤飲のおそれがあります。

使用後は、お手入れをしてください。（P.11参照）



お手入れについて（清掃・消毒）

清1.清掃方法

1. 吸引ノズル

- ① 吸引ノズルを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、吸引ノズルを手で優しく洗います。

1. 吸引ノズル

特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。

- ① 吸引ノズルを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、吸引ノズルを手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

2. 鼻水タンク

- ① 鼻水タンクを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、鼻水タンクを手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

3. サブタンク

- ① サブタンクを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、サブタンクを手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

4. シリコンチューブ

- ① シリコンチューブを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、シリコンチューブを手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

5. 本体

- ① 本体を鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、本体を手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

6. 専用ACアダプター

- ① 専用ACアダプターを鼻水タンクから取り外します。
- ② めるま湯と台所用中性洗剤を使用して、専用ACアダプターを手で優しく洗います。特に鼻水が付着しやすい内側を念入りに洗浄してください。
- ③ 洗浄後、消毒を行います。（P.12消毒方法参照）

7. 消毒方法

- ① 煮沸消毒
対応部品：吸引ノズル、シリコンチューブ
手順：
① 大きな鍋に水をたっぷり入れ、部品が水面から完全に浸かるようにします。
② 水を沸騰させ、3～5分間煮沸します。
③ 部品を取り出し、清潔なタオルや布で水気を拭き取り、完全に乾燥させます。
※高温部の火傷に注意してください。
- ② 電子レンジ消毒
対応部品：吸引ノズル、シリコンチューブ
手順：
① 電子レンジ消毒専用容器（下）に部品を入れます。容器には水を規定量入れてください。
② 電子レンジ消毒専用容器の取扱説明書に従って、消毒を行います。
③ 消毒後、部品を取り出し、清潔なタオルや布で水気を拭き取り、完全に乾燥させます。
※高温部の火傷に注意してください。
- ③ 薬液消毒
対応部品：吸引ノズル、シリコンチューブ、鼻水タンク、サブタンク
手順：
① 市販の消毒液を使用します。
② 消毒対応一覧表を参考に、各部品（材質）にあった消毒液をご使用してください。
③ 消毒液の添付文書または取扱説明書に記載の希釈濃度・浸漬方法で消毒を行います。
④ 清潔なタオルや布で水気を拭き取り、完全に乾燥させます。

消毒対応一覧表

○：影響なし、△：若干の影響あり、×：影響あり
*影響とは、部品に変形やひび割れ等が起こることです。

	部品名	材質	消毒方法				
			煮沸消毒	電子レンジ消毒	薬液消毒 （製品例）	煮沸消毒 （製品例）	煮沸消毒 （製品例）
			煮沸消毒	電子レンジ消毒	薬液消毒 （製品例）	煮沸消毒 （製品例）	煮沸消毒 （製品例）
	吸引ノズル	SI	○	○	○	○	○
	鼻水タンク	PC	×	×	△	○	△
	サブタンク	PC	×	×	△	○	△
	本体	ABS	×	×	×	×	×
	専用 AC アダプター	—	×	×	×	×	×

SI:シリコン、PC:ポリカーボネート、ABS:アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン



本体、専用ACアダプターは防水構造ではありません。水をかけたり消毒をしないでください。故障の原因となります。

■ 保管方法について

※保管する前に、台所用中性洗剤を用いて洗浄したり消毒してください。

⚠ 洗浄・消毒後は、よく乾燥させてから収納してください。（雑菌が繁殖するおそれがあります。）

世界初

オールイン収納

必要なパーツをすべて
本体に入れて保管できる！



※吸引ノズルも2種類収納可能

1 鼻水タンク（上）（下）に、インナーケース・吸引ノズルを装着してください。（P.6を参照）

2 本体内部に、鼻水タンク・シリコンチューブ・専用 AC アダプターを収納してください。

⚠ シリコンチューブの収納時は、折り曲げずに
まらめて収納してください。

3 本体のフタを閉めて保管してください。

⚠ 乳幼児の手の届くところに置かない、保管しないでください。
（小さな部品もあります。誤って部品を飲み込んだり、怪我の恐れがあります。）

⚠ 本体および部品は、清潔な場所、直射日光の当たらない場所で保管してください。
（雑菌が繁殖したり、部品が劣化するおそれがあります。）



■ 点検と廃棄について

1. 日常点検

本器を安全にご使用いただくために、使用前に日常点検を行ってください。

点検項目	点検内容	対処方法
吸引ノズル・鼻水タンク	汚れ・キズ・ヒビ割れなど はありませんか？	汚れがある場合は洗浄してください。 キズ・ヒビ割れなどがある場合は 交換してください。
シリコンチューブ	汚れ・折れ・ヒビ割れ・裂 けなどはありませんか？	汚れがある場合は洗浄してくださ い。折れ・ヒビ割れ・裂けなどがある 場合は交換してください。
専用AC アダプター	本体・コード・プラグに変 形、傷、断線、などがあり ませんか？	異常があった場合は交換してください。
電源スイッチ	電源を入れると吸引が開 始しますか？	吸引しない場合は、内部の吸引ポンプが 故障している可能性があります。販売元 にお問い合わせください。

2. 定期点検

本器を安全にご使用いただくために、定期的な保守点検を行ってください。
尚、保守点検は販売店へお問い合わせください。

3. 廃棄

廃棄する場合は、地域の条例に従って正しく処分してください。

記号について

記号	名称	説明
製品本体		
	電源オン	電源が入ります。
	電源オフ	電源が切れます。
	B形装着部	身体に対する保護の程度が、B形装着部であることを示します。JIS T 0601-1 規格に規定される要求事項に適合しています。
	注意、警告	使用上の注意・警告。 付属書を参照下さい。
	指示	製品使用上、必ず実行していただきたい内容を示します。
	禁止	製品使用上、禁止行為を示します。
	操作的説明書	本製品の使用は、取扱説明書および添付文書で説明する操作方法を守り、安全に使用してください。
	EMC適合	本製品は EMC 規格（JIS T 0601-1-2：2023）に適合しています。ただし、他の医療機器または電磁妨害の影響を受ける機器に近接して使用すると影響を受けることがあります。その場合には、正しく動作するかどうかを確認してください。
専用 AC アダプター		
	交流	専用ACアダプターは、交流100V（50Hz、60Hz）へ接続してください。
	直流	本製品は直流 12V 駆動です。
	ひし形PSEマーク	電気用品安全法に基づく安全基準を満たしている特定電気用品です。
	直流コネクタ極性	専用 AC アダプターからのプラグ極性です。
	UL 規格マーク	米国 UL 規格に適合しています。
	室内専用	本製品は室内でのみ使用できます。
	クラスII機器	クラスII機器とは、電撃に対する保護の型式を示します。クラスII機器は電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず、二重絶縁や補強絶縁による追加的な手段を伴った機器です。

故障かな？と思ったら

こんなときは	確認事項	対処方法
本体が作動しない (吸引できない)	専用 AC アダプターがコンセントや DC ジャックに正しく接続されていますか？	専用 AC アダプターを正しく差し込んでください。
	専用 AC アダプターが断線していませんか？	専用 AC アダプターを新しいものに交換してください。
	専用 AC アダプターを使用していますか？	指定された専用 AC アダプター以外は使用しないでください。
本体は作動するが 吸引しないまたは吸引力が弱い	鼻水タンクはしっかり装着されていますか？	鼻水タンク(上)と鼻水タンク(下)、インナーケース、パッキンを確実に締め直してください。
	鼻水タンクのパッキンは変形や亀裂がありませんか？	鼻水タンクのパッキンを新しいものに交換してください。
	シリコンチューブに亀裂や穴が開いていませんか？	シリコンチューブを新しいものに交換してください。
	サブタンクはしっかり装着されていますか？	サブタンク、サブタンク蓋、パッキン、Oリングを確実に締め直し、本体底面にしっかりと差し込んでください。
	サブタンクのパッキンまたはOリングは変形や亀裂がありませんか？	サブタンクのパッキンを新しいものに交換してください。
	本体内部の吸引ポンプ不良、またはリーク（空気漏れ）が考えられます。サブタンクからシリコンチューブを外し、吸気口の穴を指でふさぎ、スイッチを「ON」にします。吸引されている感覚があれば問題ありません。	
上記以外	上記を確認しても改善しない場合は、本体内部の異常が考えられますので、使用を直ちに中止し、内部の機器には触れずに、保証書に記載するお客様問い合わせ連絡先にお問い合わせください。	

製品仕様

項目 販売名 型式 医療機	内 容 Famineru ファミネル 電動鼻水吸引器 COQ-FM-01
器製造認証番号 種別 一	307AFBZX00060000 機械器具 32 医療用吸引器 電動式可搬型吸引器 管理
般的名称 医療機器分類	医療機器 クラスII機器 B 形装着部
電撃に対する保護の形式	-80kPa±10%
電撃に対する保護の程度	15L/min±20% AC100V 50/60Hz 29VA、専用ACアダプターSINGOF-18U-
最大吸引圧力 ポンプ排	120150Bを使用
気流量	
電源入力	
作動モード 使用	非連動作動（運転時間 15 分、休止時間 30 分）
環境温度湿度 保	+5℃から +35℃ 30%RH から 75%RH（ただし結露なきこと）
管環境温度湿度	-10℃から +60℃ 10%RH から 75%RH（ただし結露なきこと）
外形寸法（mm）	W138×D138×H163
気圧	800hPa から 1060hPa
質量	930g（付属品を含む）
主な材質	本体【ABS 樹脂など】鼻水タンク【ポリカーボネートなど】
付属品	専用 AC アダプター、吸引ノズル（ショート、ロング）、鼻水タンク、サブタンク、シリコンチューブ、本体取扱説明書、保証書（本書）、添付文書
販売元	株式会社 COQ 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5丁目5-6福島テラス601 株式会社八森電子デバイス 〒018-2643 秋田県山本郡八峰町八森字家の上166番地の2
製造販売元	医療機器製造販売業登録番号：05B2X10003

部品の購入について





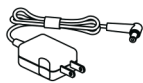

本製品の以下の部品は、ホームページより購入ができます。
詳しくは、下記URLをご覧ください。

部品購入サイト

https://famineru.com



購入可能な部品

番号	部品	部品名	商品コード
①		吸引ノズル ショート	COQ-FM-01P01
②		吸引ノズル ロング	COQ-FM-01P02
③		鼻水タンク (上) (下) インナーケース パッキン	COQ-FM-01P03
④		シリコン チューブ	COQ-FM-01P04
⑤		専用AC アダプター	COQ-FM-01P05
⑥		サブタンク サブタンク蓋 パッキン Oリング	COQ-FM-01P06

部品販売に関するお問い合わせはこちら

famineru@coq-jp.com
株式会社 COQ



■

技術資料 EMC（電磁両立性）について

Famineru ファミネル電動鼻水吸引器(以下、本器)は、医用電気機器を安全に使用するために要求されている EMC(電磁両立性)規格、JIS T 0601-1-2：2023 に適合しています。

EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器(携帯電話など)が発する電磁波から受ける影響を、一定レベル以下に抑えるように定めた規格です。

EMC(電磁両立性)とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・周辺の他の電子機器に、許容できない傷害を与えるようなノイズを出さない。(エミッション)
- ・周辺の他の電子機器から出されるノイズ等の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。(イミュニティ)

EMC(電磁両立性)に関わる技術的な説明

医用電気機器は、EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

警告

- ・本品は電磁両立性(EMC)に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載された EMC 情報に基づいて使用しなければならない。
- ・専用 AC アダプターは、指定のものを使用してください。これらを使用しない場合、機器の電磁エミッションを増加させるか、又は電磁イミュニティを減少させる可能性があり、誤動作を引き起こす可能性があります。
- ・携帯及び移動無線周波(RF)通信機器により本品は影響を受けることがあるので、30cm 以上離して使用することが望ましい。本品の誤動作など、予期せぬ現象が起こる可能性があります。
- ・本品は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。本品の誤動作や周辺機器に障害が発生する場合があります。

ガイダンス及び製造業者による宣言


本品は、以下に指定する電磁環境での使用を意図しています。本品の顧客および使用者は、このような環境内で使用することを確認してください。

表 1 ガイダンス及び製造業者による宣言 - 電磁エミッション		
エミッション試験	適合性	電磁環境ガイダンス
伝導及び放射 RF エミッション CISPR11	グループ 1 クラス B	本品は内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがってその RF エミッションは非常に低く、近接の電子機器に何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	50Hz〜2kHz AC230V/50Hz	本品は住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
電圧変動/フリッカエミッション IEC 61000-3-3	AC230V/50Hz	

表 2 ガイダンス及び製造業者による宣言—電磁イミュニティ			
イミュニティ試験	JIS T 0601-1-2 試験レベル	適合性レベル	電磁環境ガイダンス
静電気放電(ESD) JIS C 61000-4-2	接触:±8kV 気中:±2kV, ±4kV, ±8kV, ±15kV	接触±8kV 気中±2kV, ±4kV, ±8kV, ±15kV AC100V 電源ライン:±2kV 大地ライン:非適用	床は、木材、コンクリート又はセラミックタイ われであることが望ましい。床が合成材料で覆 われている場合、相対湿度は少なくとも 30% であることが望ましい。
電氣的ファストランジ ェントイバースト JIS C 61000-4-5	電源ライン:±1kV 大地ライン:±1kV		電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と 同じであることが望ましい。
サージ JIS C 61000-4-5	ライン-ライン間:± 0.5kV, ±1kV ライン-接地間:± 0.5kV, ±1kV, ±2kV	ライン-ライン間:± 0.5kV, ±1kV ライン-接地間:非適用	
電源入力ラインの電圧 ディップ、短時間停電及 び電圧変動 JIS C 61000-4-11	0%UT (0.5 サイクル) 位相角 45° 間隔 0%UT (1 サイクル) 70%UT (25 サイクル) 70%UT (25 サイクル) が 0%UT (250 サイクル) 0%UT (250 サイクル) が ※UT:試験レベルを加える 前の交流電源電圧	0%UT(0.5 サイクル)位 相角 45° 間隔 0%UT(1 サイクル) 0%UT(25 サイクル) が 0%UT (250 サイクル) が AC100V/50Hz 及び AC240V/50Hz	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境 と同じであることが望ましい。本品の使用者 が電源の停電中にも連続した稼働を要求 する場合には、本品を無停電電源又は電池 から電力供給することを推奨する。
電源周波数(50/60HZ)磁界 JIS C 61000-4-8	30A/m 50Hz 又は 60Hz	30A/m 50Hz 又は 60Hz, AC100V	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院 環境における一般的な場所と同レベルの 特性を持つことが望ましい。

表 3 ガイダンス及び製造業者による宣言—電磁イミュニティ		
イミュニティ試験	JIS T 0601-1-2 試験レベル	適合性レベル
電動 RF JIS C 61000-4-6	150kHz〜80MHz, 80%AM, 1kHz 3Vrms 6Vrms (ISM 及びアマチュア無線帯域)	150kHz〜80MHz, 80%AM, 1kHz 3Vrms 6Vrms (ISM 及びアマチュア無線帯域)
放射 RF JIS C 61000-4-3	10V/m, 80MHz - 2.7GHz 80%AM (1kHz)	10V/m, 80MHz - 2.7GHz 80%AM (1kHz) AC100V
RF 無線通信機器からの近 接電磁界 JIS C 61000-4-3	表 5 参照	
近接磁界 IEC 61000-4-39	8A/m(筐体ポート) 30kHz 無変調 滞留時間 2 秒	8A/m(筐体ポート) 30kHz 無変調 滞留時間 2 秒
	65A/m(筐体ポート) 134.2kHz パルス変調 2.1kHz 滞留時間 2 秒	65A/m(筐体ポート) 134.2kHz パルス変調 2.1kHz 滞留時間 2 秒
	7.5A/m(筐体ポート) 13.56MHz パルス変調 50kHz 滞留時間 2 秒	7.5A/m(筐体ポート) 13.56MHz パルス変調 50kHz 滞留時間 2 秒

電磁環境ガイド
携帯形及び移動形 RF 送信機器は、本器のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨
分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。
推奨分離距離
d=1.2√P 80MHz〜800MHz
d=2.3√P 800MHz〜2.5GHz
ここで、P は送信機製造業者によるワット(W)で表した最大定格出力電力であり、d はメートル(m)で表した推奨分離距離で
ある。
電磁界内の現地調査 a)によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 b)における適合性レベルよりも
低いことが望ましい。次の記号を表示している機器の近傍では干渉が生じることがある。



注 1 80MHz および 800MHz においては高い周波数範囲を適用する。注 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。 a)例えば無線(携帯／コードレス)電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放 送等の固定送信機からの電界強度を正確に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。本器が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は、本器が正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作が確認された場合には、本器の再配置又は再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。 b)周波数範囲 0.15MHz-80MHz で、電磁界強度 3V/m 未満であることが望ましい。

表 4 携帯形及び移動形 RF 通信機器と機器又はシステムとの間の推奨分離距離			
本品は、放射 RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。本器の顧客又は使用者は、通信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形 RF 通信機器(送信機)と本器との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。			
送信機の 最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150kHz〜80 MHz (4Vrms, 6Vrms) 非適用	80 MHz〜800MHz d=1.2√P	800MHz〜2.7GHz d=2.3√P
0.01	非 適	0.12	0.23
0.1	用 非	0.38	0.73
1	適 用	1.2	2.3
10	非 適	3.8	7.3
100	用 非	12	23
上記にリストされていない最大定格出力電力の送信機に関して、メートル(m)で表した推奨分離距離d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。非 適 ここで、P は、送信機製造会社によるワット(W)で表した送信機の最大定格出力電力である。 注記1 80MHz 及び800MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。 注記2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。			

表 5 RF 無線通信機からの近接に対するイミュニティー JIS C 61000-4-3						
試験周波数 (MHz)	周波数帯域a) (MHz)	サービ ス a)	変調 b)	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V/m)
385	380 ∼ 390	TETRA 400	パルス変調 b) 18Hz	1.8	0.3	27
450	430 ∼ 470	GMRS 460, FRS 460	FM C)±5kHz 偏差 1kHz 正弦波	2	0.3	28
710,745,780	704 ∼ 787	LTE Band 13,17	パルス変調 b) 217Hz	0.2	0.3	9
810,870,930	800 ∼ 960	GSM 800/900, TETRA 800,iDEN 820 CDMA 850,LTE Band 5	パルス変調 b) 18Hz	2	0.3	28
1469. 4d)	1427.9 ∼ 1510.9	日本の携帯	パルス変調 b) 217Hz	2	0.3	10
1720,1845,1970	1700 ∼ 1990	GSM 1800,CDMA 1900, GSM 1900,DECT LTE Band 1,3,4,25UMTS	パルス変調 b) 217Hz	2	0.3	28
2450	2400 ∼ 2570	Bluetooth, WLAN 802.11 b/g/n, RFID 2450,LTE Band 7	パルス変調 b) 217Hz	2	0.3	28
2595 d)	2545 ∼ 2645	5G Band 41	パルス変調 b) 217Hz	0.2	0.3	9
3450,3750, 4050,4550 d)	3400 ∼ 4100 4500 ∼ 4600	5G Band 42,n77 5G Band n79	パルス変調 b) 217Hz	0.2	0.3	9
5240,5500,5785	5100 ∼ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 b) 217Hz	0.2	0.3	9

備考:イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナと本器との間の距離を 1m にしてもよい。1m の試験距離は JIS C 61000-4-3 で許容されている。
a)サービスによっては上り回線周波数だけが含まれる。
b)搬送波は、50%デューティーサイクル矩形波信号を用いて変調する。
c)FM 変調の代わりとして、18Hz での 50%パルス変調を用いてもよい。
d)JIS T 0601-1-2:2018 の規格にない周波数。
これは実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるためである。